



第94回メーデー= 2023年5月1日 新潟県民会館



「不屈」No.587 附録  
新潟県版 No.323

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
新潟県本部

〒950-0843 新潟市  
東区粟山 3-8-1  
小日向 昭一 気付

TEL 090-2972-9678

## 大軍拡・大増税に反対

5月1日、県民会館で県憲法センターと全港湾労組が合同でメーデーを行い、約1000人が参加しました。藤田孝一憲法センター議長の開会あいさつ、打越さくら参院議員の来賓挨拶があり、掲げたスローガンは、以下のとおりです。

- ▼ 岸田政権による改憲許すな、大軍拡・大増税反対。
  - ▼ 大軍拡と大増税より国民のいのち・くらし守れ。
  - ▼ 国民主権と人権守れ。
  - ▼ ジェンダー平等社会の実現。多様性の尊重を。
  - ▼ 言論・出版・表現の自由守れ。
  - ▼ 物価上昇を上回る大幅賃上げ実現。
  - ▼ 誰もが働けば普通に暮らせる賃金の確立を。
  - ▼ 男女均等待遇実現。
  - ▼ 最低賃金はどこでも誰でも1500円、全国一律最賃法制化の実現。
  - ▼ 働くルールの確立、デイサービスネットワークの実現を。
- 県民会館での集会后、中郵便局までデモ行進しました。デモ隊は、スローガンをシュプレヒコールしながら、進みました。

### 主な記事

- 大軍拡・大増税に反対 第94回メーデーに1000人
- 「原菊枝顕彰碑」建立、国賠署名と会員拡大「特別期間」の成功を  
2023年5月11日 県理事會
- 連載特集  
「満蒙開拓団」―その国策とわが一家の足跡⑤  
新潟県における戦後の革新運動の昂揚とレッドページ⑤  
須田 一彦 (阿賀野)  
相沢 寛 (新潟)

# 「原菊枝顕彰碑」建立、国賠署名と会員拡大の「特別期間」の成功を

2023年5月11日  
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟新潟県本部 県理事会

## 【1】情勢の特徴と国賠同盟

### 1、激しい攻防の中で迎えた憲法記念日

5月3日。9条も「専守防衛」もかなぐり捨てて「戦争する国」へと暴走する岸田政権と自民・公明、改憲突撃隊の維新・国民などの動きがエスカレートする中で、憲法施行76年目の記念日を迎えた。

一方、この日東京で開かれた「憲法集会」は、市民と野党2万5千人が参加。これは近年最大規模の集会となり、「憲法を守り、新たな戦前にさせない」という国民多数の意思を表すものとなった。共

### 2、学術会議法改悪案を提出断念に追い込む

学術会議の会員選考に外部から介入できる仕組みをつくり、政府の意向にそった組織にしようとする学術会議法改悪案は、国会内外

政府は、今回の案が飲めないなら学術会議を民間法人にする」という脅しをやめ、まず違法な会

### 3、全原発停止という画期的局面をつくったドイツ

ドイツは4月15日、最後まで稼働していた3基の原発を停止し、「脱原発」を完成させた。1986年のチェルノブイリ原発の爆発事故によって、70年代から続いていた脱原発運動が加速し、政府は2000年代初めには全原発停止を決める。その後政府の逆揺れもあったが、2011年の福島第一原発事故について、首相が「世界にとつての大転換」と

員任命拒否を撤回し、学術の独立性を大前提にして学術会議側と「真摯な」協議を行うべきである。

述べ、脱原発を明確にした。ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー危機に見舞われたが、そのロシアによるザポロジエ原発爆撃をうけて、環境相が「原発は制御できない。戦争の標的になり防衛は不可能」と発言し、全原発停止が実現した。ここでも、「声をあげれば政治は変えられる」ということが示されたことに注目したい。

## 【2】第41回県本部大会 (6/18) めざす活動

### 1 「国賠署名・会員拡大の自主目標達成特別期間」を成功させよう。

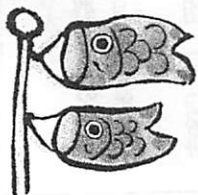
① 4月の会員拡大・署名行動の結果 別掲

中央本部訴え(「不屈中央版」4月号に掲載)に応えよう。

② 会員拡大5月の目標、純増10名以上。6月の県本部大会までに

362名以上の会員到達目指す。

③ 署名目標、累計で5月16日の国会請願までに2000筆以上を目指す。



## 2 「新潟県治安維持法犠牲者名簿」の頒布

- ①現在の頒布状況：250冊作って、132冊頒布済み、残118冊。を要請中。
- ②新潟県下の地区委員会への頒布

## 3 映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」上映運動

- ①五泉市での上映(7/29・ラポルテ五泉 午後2時〜)成功に向けて取り組み中。
- ②6月以降、長岡市での上映運動の具体化を目指す。

## 4 100周年・木崎争議の教訓を語り継ぐ取り組み

新潟市北区と秋葉区と西区と中央区、五泉などで6月以降具体化を目指す。

## 5 「原菊枝顕彰碑」建立運動

- ①「同碑建立第2回実行委員会」(5/15) 配布した。
- ②同碑建立基金への募金は、目標150万円に対し、現在、約85万円集まった
- ③同碑建立の日時：5/18(木) 10時〜
- ④「同碑建立運動ニュース第2号」を発行し、多くの民主団体へ
- ⑤顕彰碑の除幕式：5/27(土) 11時〜12時
- ⑥同碑除幕式後のレセプション(祝典・会費3000円)：あしぬま荘の近くの公民館で行う。
- ⑦式典の前後の設営などに新潟支部の協力要請

## 6 「6月・県本部大会」開催について

- ①日時：6月18日(日) 10時〜
- ②会場：万代市民会館
- ③代議員：支部会員10人につき1人、端数切り上げ
- ④旅費：本部負担

## 5 午後・記念講演(小林朗氏)

## 7 その他

- ①「会費納入」活動の強化・改善：なるべく6月の県本部大会までに納入。
- ②次回の常任理事会：6/6(火) 10時〜
- ③次回県理事会：6/8(木) 13時30分〜クロスパルにいたた304号室

## 【別掲】会員と署名数の到達状況

支部	お名前
上越	篠原 修さん
長岡	遠藤 玲子さん

●4月の会員増はプラス2、マイナス2で純増はゼロだった。  
4月の国賠署名の増は、313筆(新潟179、上越72、魚沼54、阿賀野8)だった。

	会員数	4月の会員増	4月の会員減	誌友人数	国賠署名数			
					昨年5月11日までの署名数=昨年の国会請願数		昨年5月12日以後の署名数計	
					個人	団体	個人	団体
新潟	125		2	2	659	2	574	
長岡	33	1			170		105	
上越	61	1		1	208		281	
阿賀野	17				131		86	
新発田	11				10			
五泉	6				26		12	
魚沼	7			1	33	7		
豊栄	12							
新津	21			1			50	
三条	6				31			
小千谷	10				260		86	
柏崎	6				10			
魚沼	14				63		129	
佐渡	4				20	2	10	
点荘	9				17			
県本部					11		10	
県合計	342	2	2	5	1,649		1,343	

## ●事務局日記

### 4月の行事・活動報告

- ①4月12日(水) 常任理事会
- ②4月13日(木) 県理事会
- ③4月17日(月) 「不屈」編集委員会
- ④4月21日(金) ピースフェスタ in 古町実行委員会

連載特集1

# 「満蒙開拓団」―その国策とわが一家の足跡

## 第5回

須田一彦 (阿賀野)

### 第2部 わが一家の足跡

#### 1、渡満 小国から満洲吉林へ

「日支の間に戦雲ますます漂うこの時、自ら進んで大陸に進出しようとする勇氣と壮心に感激するものであります。須田家の限りない発展とご多幸を心から祈ってお送りいたします」、山崎部落総代の激励の言葉です。

当時、県から各部落に割り当てられた満蒙開拓団の送出数。この年、部落には一戸の希望者も無くその消化に苦慮していた総代は、我が家の満州行きを歓迎し、鎮守様で盛大な壮行会をしてくれました。昭和十五年十二月初めです。

当時、刈羽郡中里村法坂(現長岡市小国町)に住んでいた我が一家でした。

父の手記『航路を追って』によれば、昭和十五年、日中戦争は泥

沼化し、アジア・太平洋戦争が始まる前年のこの年には、村に頻繁に召集令状が来たそうです。児童とともに軍歌を歌いながら力いっぱい振る日の丸に見え隠れする、悲壮な若者の充血した眼差しを見るのが辛かったと、書いています。

そして明日は我が身かと思うと眠れない夜が続いたといえます。父は妻子を守るために満州行きを決意したようです。親類は猛反対しましたが、母の「あなたの行く所ならどこへでも」の言葉に励まされ、熱心に親類を説得しました。満州ではまだ足りなかつた教員として、満州へ出発したのです。

父鉄造28歳、母ハマ子26歳、一彦4歳、茂子2歳、洋子9か月という五人の若い一家でした。

下関から関釜連絡船で朝鮮の釜山に上陸。急行列車で北上し、鴨緑江を渡ると満州です。奉天を過

#### 2、満蒙開拓団の生活

そこから昭和二十一年秋の引き揚げまでの丸六年間の満州生活が始まります。

父の赴任地は、吉林省の小城在満国民学校でした。岐阜県送出の開拓団で、約五百人の団員。学校には約40人の生徒がいました。校舎が無く警察の二階を借りて勉強をしていました。教科書以外は何も無く粗末な教育環境だったようです。

昭和十八年五月、父の転勤で移った吉林の興隆川(こうりゅうせん)開拓団(東京奥多摩送出)は、六百50人の団員でした。こ

ぎ、赴任地近くの新京に着いたのは、十二月十三日でした。

ている状態でした。

医者がいないので、病人が出る。と汽車に乗って遠方の吉林市まで行かなくてはならない。この中で、我が家では渡満してから昭和十七年に生まれた三女の愛子が、父の出張中に麻疹に罹り、父が帰宅してから吉林の病院に担ぎこみましたが、手遅れで病院で死亡しました。

このように当時は国策で、大量の移民を満州へ送り込みました。が、それに対応できる教育環境や医療体制は極めて遅れていました。義務教育も二部制、三部制の複式学級が多く、教材もなくその上教師も不足がちで、学力の低下は免れなかつたようです。



昭和十九年一月六日未明、我が家に四女春子が生まれます。そのときの様子を父は手記『航跡を追って』に次のように書いています。

― 前夜から吹雪が吹きつける寒い夜だった。夜半過ぎから「陣痛がする。朝までもつかしら」心配する妻の言葉を抑えて、「この真夜中では外は零下何十度だろう。人を頼むにも頼まれないから、待つてくれ」と。妻はやむなく、なづいたが、痛みは益々激しくなるらしい。見かねた私は、夜の明

けるのを待ちかねて、青年学校の馬車で、用務員の王さんに、本日まで産婆さんを迎えに行ってもらうことにした。

時間は経つ、夜は白みかけるが産婆さんは来ない。陣痛の間隔は益々短くなる。赤ん坊はついに、頭を出し始めた。妻はうつむき加減になって最後の力を振り絞り、つまみ出すようにして生み落とす。全くアツと言う間の出来事だった。そのまま産婆さんの来るのを待った。

やがて約一時間、駆けつけてく

れた産婆さんが、親子の始末をしてくれました。私は今更ながら母性本能の力強さを知らされた。そして長時間の苦痛に耐えた妻の精神力に驚いた。一月生まれなので春子と名づけた」と。

近くを流れていた川の名からつけられた興隆川開拓団は、川沿いに奥へ八キロの道があり七つの集落が点在していました。各部落は高さ5メートルほどの土塀で囲まれ、出入り口は二つで望楼があり、夜になると閉鎖されました。

連載特集2

新潟県における戦後の革新運動の昂揚と

レッドパージ

第5回

相沢 寛 (新潟)

(3) アジアの前進基地化めざすテコとしてのレッド・パージ

(前号よりのつづき)

労働省編『労働運動史』によれば、「8月末現在の共産党員数85、148名に対し、レッド・パージされた者は、民間で10、972人、各省庁で1177人、計12、149人への

ぼり、経営内党组织の大部分が破壊され、労働組合運動への影響力も極度に弱まった」と分析しています。

以上のように、アメリカカ占領軍と日本政府は、日本共産党を先頭

にした日本の革新勢力に対して、あらゆる手段を利用して、全面的な総攻撃を開始したのでした。

労働省編『労働運動史』によれば、「8月末現在の共産党員数85、148名に対し、レッド・パージされた者は、民間で10、972人、各省庁で1177人、計12、149人へのぼり、経営内党组织の大部分が破

今日の俳句

町田 綾子 (上越)

庭雀五月の光ばらまきぬ

嵐に折り目新らし鯉のぼり

掛軸を替へて端午の間近なり

広瀬 喜代子 (新潟)

髪を切る鏡のわたし夏兆す

すれ違う日傘の影をふり返り

呼び合ひて庭の客人四十雀



壊され、労働組合運動への影響力も極度に弱まった」と分析しています。

## 2、新潟県内におけるレッド・パージと

### 反対闘争

49年3月には新潟県議会で「アモ規制条例」が可決していきま  
す。7月には、「組合民主化」(共  
産分子排除)を掲げる「新潟県民  
主労働組合会議(県民労)」が結  
成されています。

### (1) 全産業にわたる人減らし合理化

#### ―事実上のレッド・パージ

新潟県内でも、大企業での人減  
らし「合理化」(企業整備)が大規  
模に進められました。48年10  
月、日本ステンレス直江津工場の  
750人の首切り発表をはじめ、  
12月には、東芝加茂工場、49  
年には東洋合成新潟工場、日曹新  
発田工場(220人)、日本軽金属  
新潟工場(400人)、新潟鉄工所  
(1400人)、大阪機械長岡工場  
(11000人)、理研柏崎工場  
(2000人)などで大量解雇が実施  
されました。当然この首切りのな  
かに共産黨員や支持者、戦間的な  
組合活動家が組み込まれて企業と  
組合から追放されました。

新潟鉄工所では、レッド・パージ  
前には、3ケタに近い党組織と  
450部の「アカハタ」日刊紙読  
者を持っていました。当時、会社

では、共産党の影響下にある労働  
者を800人と踏んでいました。  
レッド・パージによって強大な党  
組織が完全に壊滅し、その後党  
再建には数年かかった(『風雪越  
佐』(第一集) 363〜367頁、  
403〜6頁)「新潟鉄工、入党か  
らレッド・パージまでの闘い」党建  
設と私の思い出(中野守男)  
ということです。

49年7月4日、新潟鉄道局第  
1次整理通告1608人。第2  
次、第2次、第3次を通じての人  
員整理状況は、合計で9,016  
人(依願免職195人、定員法8、  
635人、その他182人)です。  
そのなかには左派系の組合役員が  
そっくり含まれていました。その  
名前のなかに、のちに日本共産党  
新潟県委員会の常任委員となった  
水品金造、本間友次郎の名が見ら  
れます。全通では、郵便関係76  
人、電通関係103人、計179  
人、新潟管区气象台20人、税務

署関係90人の人員整理でした。  
民間のレッド・パージも広がり、  
電産、日通、青海電化、昭電  
鹿瀬、昭和合成鹿瀬、大平工業佐  
渡、日鉄赤谷、日曹一本木、信越  
化学、日石、帝石柏崎、日セル新  
井、新潟硫酸、北越製紙、北越パ  
ルフ、日東紡績等の16民間組合  
で170人の組合幹部、活動家が  
追放されました。

### 今月の絵手紙



笠原順子 (新津)